Flagship Management Official Newsletter

コンさる君の 今日も視界良好

10月号
vol.078

「現状認識を誤ればどんな理想もそれは戯言」マネージャー　木戸　貴也（中小企業診断士）

私は、仕事でもプライベートでも事実を認識することを大切にしています。人は無意識のうちに自分の主観や価値観、過去の経験、知識などのフィルターを通して物事を捉えてしまう傾向にあるため、可能な限り、多面的に客観的に事実を捉えたく、そう意識しています。また、ギャップ分析については過去のニュースレターやブログなどでもご紹介しているかと思いますが、このギャップ分析を行い、目標を達成するための課題設定を行う際にもこの考えが活きてきます。

ギャップ分析では、現状と目標の差を認識すること、その差を埋めるための課題設定と具体的な解決策を考えます。ここでどのような目標を立てるかはその人の自由ですが、現状認識については違います。

あくまで客観的、多面的に検討、分析した結果の現状認識でなければなりません。なぜそうなのか。それは、設定する課題や具体的な打ち手にズレが発生するからです。当然ですが、ここでズレが発生すれば目標を達成することはできません。

例えば、体重 60 kgを目指しているのに現状が 65 kgと誤認（本当は 70 kg）していれば、必要な行動ができないのは明白です。今年も早いもので後 3 か月です。これから今年の振り返りや来年の目標を立てる方も多いでしょうから、その際には今年取り組んだこと、頑張ったことなども含め、現状認識がどうなのか、少し意識しながら行ってみてはいかがでしょうか。

「忘れかけていた会社の目標」　経理・総務　松野　あやか

最近、目先の業務が忙しく、つい経営方針書に書かれてあることや会社の目標を忘れかけていました。また、心の余裕がなく、視野が狭くなっていました。社内のことで悩んでいたことも経営方針書を読み直し、会社の目標である「日本一の中小企業診断士事務所を作る」ことを思い出すと、こんなことで悩むのではなく未来のことを考え、改善案を見つけ、前に進んでいくことが大切だと思いました。代表が大切にしている価値観や想い、社員力、会社として目指す方向性が書いてある経営方針書があったからこそ、私は自分の進むべき道を再確認することができました。いつまでも悩み、考えるのではなく、改善案を見つけ、率先して行動することが日本一の中小企業診断士事務所の経理・総務を担当している私の使命であると気づきました。

「新たな組織体制の構築に向けて」　ビジネスアナリスト　伊藤　侑加

9 月から営業事務職として吉川、造田の 2 名が当社に入社しました。当社で営業事務職を採用するのは初めてで、現在 PDCA を回しながら木戸と私が中心となり、組織体制の構築を行っております。

これまで各コンサルタントが行ってきた独自のやり方から、一番作業効率の良い方法を検討、標準化し、仕組化することを大切にしています。また、データの保管方法についても誰が見てもわかる方法に統一するよう進めています。（いわゆる暗黙知→標準化→形式知）当社は社歴に関わらず、誰でも意見が述べられ、会社にとって良いことは積極的に取り入れていく社風ですので、今後は新たに入社したメンバーにも改善提案をして貰い、より強固な組織づくりをしていきたいと思っています。今後、担当コンサルタント以外から、お客様へ連絡をすることもあるかと思いますが、弊社一丸となって、ご支援して参りますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

「百聞は一見に如かず」　ビジネスアナリスト　杉本　貴弘（中小企業診断士）

「百聞は一見に如かず」とは、人から何度も聞いたところで、実際に自分の目で見るほうがよくわかるという意味のことわざであり、耳にしたことが無いという人はいないかと思います。私たちは日々の生活で意識せずともこのことわざを実践しています。例えば、新しい商品を買う時にはインターネット上でのクチコミも参考にしますが、実際店舗に足を運んで商品に触れてみることで良し悪しを判断する等です。仕事をする上でも、カタログやマニュアルをいくら読み込んだとて、実際に機械を触ってみないと使い勝手がわからなかったりしますね。最近はプライベートでジムのプログラムを体験しましたが、聞いていた以上にハードでついていくのがやっとの状態でした。私はなかなかしんどい結果に終わってしまいましたが、「百聞は一見に如かず」と軽い気持ちで秋の夜長に何か新しい事に取り組んでみるのも良いかもしれません。

株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ
いいね！ お待ちしております。

株式会社フラッグシップ経営 Twitter
@flagship_keiei にて随時情報発信中！

裏面へ

「和歌山支店に行きます」 ビジネスアナリスト　橋本　大治

来月より急遽、和歌山支店に転勤をすることになりました。というより、志願して和歌山支店に転勤します。支店の拡大、支店での組織運営経験、独り暮らしによる自立、環境を変えることによる心理的成長等、思い立った理由は様々ありますが日が経つに連れてやはり不安が増してきます。どのような生活になるのか、どのような働き方になるのか不安はいくつもありますが不安に駆られる度に昨年ニュースレターでも記載した私のモットーである「なんとかする」という言葉が私を鼓舞します。次号のニュースレターは和歌山支店からお届けです！これからも何とかするぞ！！

「ホスピタリティと報連相」 ビジネスアナリスト　秋定　皇輝

服が好きでよく行く店があり、そこは神戸と大阪に店舗がある小さなお店で、これまでは大阪の店舗にしか行ったことがありませんでした。普段通り大阪店に行ったらお目当てのものがなく、神戸店にしかないということで、その足で神戸店に行ったら、「秋定様、お待ちしておりました」と出迎えていただいたことがありました。

行ったことのない店舗で、会ったことのない店員さんからその様に言われてビックリしたのと同時に嬉しかったのですが、考えてみると店舗間で名前や特徴、服装など報連相が徹底して行われているからなんだろうな、と思いました。今回の件からそのお店に行くためだけに神戸へ訪れるほど、すっかりファンになってしまいました。小さな会社であっても、店舗を超えての即時の情報共有はなかなかできるものではないのかな、という印象もあり、小さな出来事ではあるかもしれませんが、このような所から差が生まれてくる＝細部にこだわる必要があるなと身に染みて感じました。小事は大事、一事が万事という言葉の通り、仕事に関しましても細部にこだわって進めていきたいと思わされた出来事でした。

「マルチタスクによる弊害を実感するテスト」 ビジネスアナリスト　日野　慎太郎

３月のニュースレターで木戸が「マルチタスクが求められるからこそ１つの仕事に集中する」という記事を書きましたが、私もその記事を見てから、１つタスクの塊を大きくし、可能な限りマルチタスクを減らす様な仕事の仕方を意識していました。確かに、ミスも減り、作業効率が向上したように感じます。今日は、マルチタスクによる弊害が実感できる簡単なテストを紹介したいと思います。数字を１から 10 まで順番に言うタスク①と、アルファベットをＡからＪまで順番に言うタスク②があったとします。

まずは、タスク①を全て完了させてからタスク②を実施して下さい。その後、タスク①とタスク②を交互に実施してください（例：１⇒Ａ⇒２⇒Ｂ・・）。皆さん、如何でしょうか。タスク①とタスク②を交互に実施した際の大変さを実感できたかと思います。皆さんの普段のタスクはさらに複雑な内容かと思いますので、このマルチタスクの弊害はさらに大きいものになります。忙しい時こそ、マルチタスクをいかに減らすかを意識してみてはいかがでしょうか。

「趣味について」 ビジネスアナリスト　古川　悠樹

突然ですが、みなさん趣味はありますでしょうか？私自身、そこまで多趣味では無いのですが、10 年以上ハマっているものがコーヒーです。大学時代にカフェでアルバイトするまで、コーヒーは黒くて苦い液体といった存在でした。

しかし、コーヒーを学ぶにつれて、その魅力に惹き込まれ、今では毎日欠かさず飲んでおります。産地、焙煎加減、抽出方法によって様々な味の違いがあり、本当に奥が深いです。

最近は、重厚なコクと酸味が控えめなスマトラ産コーヒーをよく飲んでます。コーヒー好きの方や少し頭をリセットしたい時には、ぜひ一度飲んでみて下さい。写真は、先日、京都で開催されたコーヒーイベントに参加した時の様子です。

発行元：株式会社フラッグシップ経営　　経営革新等認定支援機関

大阪本社　：〒541-0043　大阪市中央区高麗橋３丁目 2-7　ORIX 高麗橋ビル５階
和歌山支店：〒640-8392　和歌山県和歌山市中之島１５１８　中之島８０１ビル　１２階
ＴＥＬ：0120-34-8776　　FAX：06-7635-8214
MAIL：info@flagship-keiei.co.jp　　URL：www.flagship-keiei.co.jp

コンさる君の

今日も視界良好　代表編

Flagship Management Official Newsletter

10月号

「継続力と行動量」　代表取締役　長尾　康行（中小企業診断士）

代表取締役　長尾　康行

経営支援の現場や同業の SNS などを見ていてよく感じることですが、最近は理屈や評論が多く、継続力や行動量といった基礎的な力を身に付けずに仕事をした気になっている人が多いように思います。私もまだ 13 年しか経営者をしていませんので、偉そうにするつもりはありませんがビジネスは非常にシンプルで、お客様の困りごとに対して価値を提供し続けるだけで成り立つと考えています。そのためにはシンプルで普遍的なことををやり続ける、動き続ける事が何よりも重要ですが、それを軽んじると上手く結果が出なくなります。売上が下がっている場合はお客様を継続的に訪問し、人員不足であれば継続的に現場社員と話をすればヒントが見えてくるはずです。そういった地道な努力をし続けることができるか否かが、ビジネスの勝敗を決めたりするものかなと思います。

「自己紹介」　営業事務　吉川鈴夏

９月より入社いたしました営業事務の吉川鈴夏です。前職では医療機器等の販売や医療サービスを行っている会社で営業事務として従事しておりました。休みの日に、甘い物が好きなのでオシャレなカフェを探してスイーツを食べに行くことが好きです。実際にお会いする機会は少ないと思いますが、経営者の皆様やコンサルタントのサポート業務に精神して参りますのでよろしくお願いいたします。生年月日：1997 年 6 月 17 日。大阪府出身　血液型：O 型
趣味：カフェ巡り、スポーツ観戦、愛猫と遊ぶこと

「自己紹介」　営業事務　造田　朋夏

はじめまして。9 月より入社しました造田です。まだまだ慣れないことも多いですが、営業事務として会社が円滑に回るように積極的にサポートしていきます。会社の近くには飲食店がたくさんあるので、これから休憩時間には気分転換も兼ねておいしいお店を開拓するのが楽しみです。写真は先日 SNS で見つけて訪れたお店で注文したトロ丼です。今後来訪された際やお電話でお話しする機会もあると思いますがよろしくお願いします。
生年月日：1997 年 6 月 7 日　出身：香川県　趣味：料理、ライブ鑑賞

「カンボジアでの衝撃」　インターン生　小甲　智也

先日、ビジネス見学で 1 週間ほどカンボジアにいったので、そこでの衝撃を書かせていただきたいと思います。カンボジアで様々な方との交流で一番衝撃を受けたことは、発展途上国で生活水準が乏しくタフな生活環境であるのに、カンボジア人はものすごく心豊かに人を大切に生きているという点でした。まさに心の豊かさと物質的な豊かさが、日本と対極にあると感じました。カンボジアは経済が急激に成長する中でも、友人や家族を大切にする文化が深く根付いており、社会が目まぐるしく変化する中でも人が生きるうえでの「人のつながり」という本質をきちんと捉えているのだと感じました。そういった意味でもものすごく可能性を感じる国なのだと思いカンボジアへの期待と憧れを感じながら日本に戻りました。

「普通」　インターン生　平手　陸翔

今年、プロ野球で阪神タイガースが 18 年ぶりに優勝しました。最近スポーツニュースを賑わしていた「アレ」です。現在 20 歳の私は祖父の影響で幼い頃から大の阪神ファンでしたが、最後に優勝したのが 2 歳の時ということで、物心ついてから初めての優勝ということになります。今回は阪神タイガースを応援している中で感銘を受けたことをお話しします。それは試合後の監督インタビューで岡田監督が次の試合への意気込みを聞かれた際に口癖のように話していた「普通にやるだけ」という言葉です。私は自分が持っている力をその通りに発揮することができれば、いい成績を残すことができるという意味だと解釈しました。実力以上の成果を出そうと意気込んでも空回りしてしまう。それよりも実力通りの成果を出せるようにしっかりと準備すること、その成果を大きくするために実力を伸ばすことが大切なのだと気づかされました。ここからは日本一を目指す戦いが始まります。日本一となると 1985 年以来 38 年ぶりだそうです。しっかり応援したいと思います！

発行元：株式会社フラッグシップ経営　経営革新等認定支援機関
大阪本社：〒541-0043　大阪市中央区高麗橋 3 丁目 2-7　ORIX 高麗橋ビル 5 階
和歌山支店：〒640-8392　和歌山県和歌山市中之島１５１８　中之島８０１ビル　１２階
ＴＥＬ：0120-34-8776　FAX：06-7635-8214
MAIL：info@flagship-keiei.co.jp　URL：www.flagship-keiei.co.jp

今日も視界良好　インターン編

「知ることより考えること」　インターン生　伊藤　悦子

９月はルーブル展が終わる季節で、後悔が残らないように何度も京セラ美術館に通いました。絵というものは自分でも気付いていなかった感情や心の根っこの部分を明らかにしてくれますね。何かをより正確に感じ取れるのが絵画の魅力のひとつです。私は美術館という、芸術のために計算された空間が好きで、芸術家という生身で自己主張をする人たちに心底敬意を感じ、とにかく全部が大好きで、芸術に触れたくなります。森ビル（株）の国際都市アート意識調査によれば、「ビジネスにおけるヒントを得る」ために芸術に触れると回答した人が東京では約５％、上海では約 18%います。

この結果に対して森美術館の南條史生館長は「芸術を通して世界の様々なことを知る」ことがビジネスのヒントになっていると解説していますが、、、この言説、私はちょっとわからないです。芸術とは、何かを知るためにあるのではなく、何かを考えるためにあるのではないかな、とずっと思っています。絵の前に立つと人は受身ではいられません。言葉がないからこそ、何かを読み取ろうと脳が勝手に動き出す感覚があります。言葉により自身の感情や考えがその言葉にチューニングされることなく、どこまでもニュートラルに自己対話が出来る気がします。この過程で、「ビジネスにおけるヒントを得る」のでは？私はそう感じます。芸術は言葉の陥穽にとらわれず自己対話が出来る唯一の媒体だと思っています。

もし何かに迷ったときは、芸術に触れると、自分は何をしたいのか、何を選択したいのか、わかるかもしれません。芸術の秋ですね。お時間ある時に美術館に足を運んでみてください。ついでに読書の秋ですね。タイトルは哲学者池田晶子さんの言葉から抜粋しました。

「それは誰にとっての幸せか」　インターン生　野稲　大樹

先日建築会社のインターンシップで５日間カンボジアに行ってきました。小学校の建設のお手伝いをするというインターンシップだったのですが、学校建設以外にも市場に行って買い物をしたり、観光をしたり、現地の小学生と遊んだりと色んなことをしました。今回このインターンシップで日本での生活と全く異なる環境に身を置き、また現地でできた友人の家にお邪魔させてもらったりする中で「幸せとは何か」について考えることができる機会になりました。

便利であることが幸せなのか、お金を持っていることが幸せなのか。カンボジアは発展途上国であまりインフラも整っておらず、日本と比べてもとても便利とは言い難い国でした。しかし、現地で出会った人たちからは、自分の日本での暮らしにおける幸せとは全く違った「幸せ」というものが垣間見えたような気がしました。そして今まで他人の幸せを自分の軸で決めつけていたのかもしれないという気持ちがよぎりました。自分にとっての幸せ、他人にとっての幸せは全く別物なのかもしれないという気持ちを胸に抱き明日も生きていこうと思いました。

「自己紹介」　インターン生　宮川　尚也

こんにちは、インターン生の宮川と申します。インターン生として勤務をさせていただいてから早くも一か月がたちました。何かに集中している一か月というのはものすごく過ぎるのが早いなあと感じます。さまざまな業務にかかわらせていただく中で、新たなものを見て、新たなものを感じ、ゆっくりではありますが１つずつ新しいことができるようになっていくという「新しい」に満ちた新鮮な毎日を送っています。さて、私にとってまだ二回目のニュースレターであるので、今回は私がインターンシップに参加を希望した理由について書きたいと思います。　私は、私が生まれる前に亡くなってしまった祖父を尊敬しています。今以上に合格が難しい時代に名門国立大学に合格し、熱心に繊維の研究をしていた勤勉な人だったと聞きます。それでいて、祖父の周りの人たちみんなからは気遣いを欠かさない人だったという評判で、一度でも会ってみたかったです。そんな勤勉な祖父でしたが就職した先の会社が倒産し、その後友人と立ち上げた洗剤の会社は経営がうまくいかなかったそうです。さらにその後は、タクシー運転手など様々な仕事をして家族を養っていたそうです。私は、勤勉で気遣いを欠かさない祖父のような人を支えたいと思っています。そして、私は経営を支える仕事に興味を持ち、インターンシップに参加希望しました。そして、私はご縁をいただいてこの場にいます。私は、一人でも多く祖父のような人を救える能力や力を身に着けるために、日々学んでいきたいと思います。

「抽象と具体を意識する」　インターン生　瀧澤　佳樹

フラッグシップ経営で働いて気づいたことがあります。それは抽象と具体を意識して考えることです。業務を遂行している時に、何を書くかを悩んでいるときに、たくさん悩んだ挙句、後から上司に言われることが、「業務全体を通して一貫性がない」や「何をゴールとして、書いてあるのかがわからない」といった指摘です。私は文章を書いているときに、一生懸命あれこれネットや本で調べていますが、まず考えることは抽象的に全体を通して何が言いたいのかを考えることです。

その後に目的から逆算して具体的な内容をネットや本を駆使して取り組むべきと考えました。加えて、もう一段階踏み込むと、抽象的に全体の構造を考えたうえで、具体的内容は重要度と優先順位をつけることが、限られた時間の中で業務をこなすための、取捨選択が必要だと考えています。今後は業務全体を俯瞰し、何が大切で何が大切でないかを明確にしたうえで、業務を限られた時間内で、終わらせようと思います！